2026年９月期　決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社インティメート・マージャー　　上場取引所　東
コード番号　　7072　　ＵＲＬ　https://corp.intimatemerger.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）簗島　亮次
問合せ先責任者　（役職名）管理本部部長　　（氏名）寒澤　陽平　　ＴＥＬ　03（5114）6051

定時株主総会開催予定日　2026年12月21日　　配当支払開始予定日　－
有価証券報告書提出予定日　2026年12月22日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2026年９月期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	3,649	8.5	328	44.2	334	45.9	242	58.2
2025年９月期	3,363	12.3	227	164.2	229	165.3	153	168.3

（注）包括利益　2026年９月期　243百万円（55.1%）　2025年９月期　156百万円（161.6%）

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年９月期	77.45	77.20	14.8	14.4	9.0
2025年９月期	47.32	46.75	9.9	10.6	6.8

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	2,466	1,813	71.6	561.83
2025年９月期	2,191	1,556	69.1	488.52

（参考）自己資本　2026年９月期　1,766百万円　2025年９月期　1,513百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	340	△3	△16	1,946
2025年９月期	218	△0	△214	1,625

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	－	0.00	－	0.00	0.00	－	－	－
2026年９月期	－	0.00	－	0.00	0.00	－	－	－
2027年９月期（予想）	－	0.00	－	0.00	0.00		－	

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年９月期の連結業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,205	15.2	409	24.8	408	22.1	268	10.7	85.48

（注）「１株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2026年９月30日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①	会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②	①以外の会計方針の変更	：無
③	会計上の見積りの変更	：無
④	修正再表示	：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①	期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	3,163,250株	2025年９月期　3,120,350株
②	期末自己株式数	2026年９月期	19,621株	2025年９月期　21,221株
③	期中平均株式数	2026年９月期	3,134,097株	2025年９月期　3,243,466株

（参考）個別業績の概要

１．2026年９月期の個別業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）個別経営成績　　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	3,654	8.5	325	47.4	332	49.0	242	61.5
2025年９月期	3,369	12.3	221	170.1	223	170.2	150	175.9

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年９月期	77.34	77.09
2025年９月期	46.28	45.72

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	2,444	1,791	72.4	563.04
2025年９月期	2,170	1,535	70.0	489.86

（参考）自己資本　2026年９月期　1,769百万円　2025年９月期　1,518百万円

２．2027年９月期の個別業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,210	15.2	406	22.4	267	10.6	85.25

（注）「１株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2026年９月30日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料は、決算発表日の2026年11月13日（金）同日に当社ホームページに掲載いたします。

当社は、2026年11月20日（金）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。なお、決算説明会はオンライン開催とさせていただきます。その模様及び説明内容(動画）については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 2
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 3
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 4
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）連結貸借対照表 …… 5
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 6
連結損益計算書 …… 6
連結包括利益計算書 …… 7
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 8
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 10
（１株当たり情報） …… 11
（重要な後発事象） …… 12

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、各種政策の効果もあり、雇用や所得環境の改善やインバウンド需要の増加がみられ、緩やかに景気が回復する動きがみられました。一方で、ウクライナ情勢の長期化に加え、米国を巻き込んだイラン・イスラエル間の紛争激化など中東地域における地政学リスクが一段と高まっており、物価高止まりによる消費マインドへの影響、為替相場の変動や海外景気の下振れ懸念、ならびに国内における慢性的な人手不足など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

企業のデジタルトランスフォーメーションやデータ利活用が加速する環境下において、国内スマートフォンの主要シェアを占めるiOS（Safari）等では、プライバシー保護の観点からブラウザ上の行動データ捕捉が困難な状況が続いております。こうした中、当社が提供する「IM-UID」は、単なる規制への代替技術にとどまらず、ユーザーへのリーチや精緻な分析を実現するための不可欠な「データインフラ」として定着し、Googleアドマネージャー等のプラットフォームを通じた利用量が拡大しております。

加えて、急速に社会実装が進む生成AI領域においては、AIエージェントの駆動や回答精度の向上、さらには検索エンジン最適化（SGE/LMO）を目的として、AIに学習・参照させるための「高品質なオーディエンスデータ」への需要が急増しております。当社はこれらAIのパフォーマンスを左右するデータ供給元としての役割を担いつつあり、「AI時代のデータ活用インフラ」としての需要は順調に伸長しております。

ソリューション毎の経営環境につきましては、マーケティング支援においては、顧客企業のデジタルマーケティング内製化やAI活用の進展に合わせ、セルフサービスでデータ仕入れや運用を行えるサービスの提供等を進めました。顧客の内製化に伴う運用支援の解約や予算削減があったこと、および成長領域への人員シフトに伴い小規模案件の新規受注を抑えたことや代理店経由の受注減少等により、売上高およびアカウント数は前年同期比で減少となりました。一方で、1件あたりの規模が大きいセルフサービス型の利用比率が高まったことにより、平均単価は前年同期比で上昇いたしました。

データマネジメント・アナリティクスについては、ポストCookie領域におけるデータ利用ニーズの増加を中心に、売上高・利益ともに前年同期比で順調に増加しました。当社独自の識別子である「IM-UID」を活用した連携先媒体社等での広告配信量が増加したほか、AIエージェントへの組み込みや広告以外の領域でのデータ活用需要が拡大いたしました。取引形態が媒体社やパートナー企業経由に集約されたことで直接取引のアカウント数は微増にとどまるものの、1件あたりの取引規模の拡大や付加価値の高いデータ商品の増加により平均単価は上昇傾向にあります。一方で、データ利用を開始した一部の提携先企業における実際の活用や導入プロジェクトの進捗に遅れが見られるなど、顧客側の導入・活用に至るまでのリードタイムの長さが課題となっており、早期の収益化に向けたスピード向上に努めております。

成果報酬型ディスプレイ広告運用サービス「Performance DMP」については、外部の先進的な広告インテリジェンスであるBrowsiとの連携によるタグ設置不要な新たな配信メニューの導入効果により導入のハードルが下がり、アカウント数が増加いたしました。あわせて、営業体制の見直しによる価格交渉力の向上や、運用の自動化・不採算案件の発生防止を進めた結果、限界利益率が大きく改善し、売上高、利益、アカウント数、平均単価の主要4指標すべてにおいて前年同期比で大幅な伸長となりました。

費用面においては、生成AIやAIエージェントの活用、設定作業の自動化等による業務効率化とコスト最適化を図る一方で、中途採用の着実な進捗等に伴う人員増加による人件費の増加や、リード獲得に向けた展示会出展等の販促施策による費用増加などにより、販売管理費は前年同期比で増加いたしました。しかしながら、利益率の高いソリューションへのシフトが進んだことで費用の増加分を十分に吸収し、売上高および各段階利益で過去最高を更新するとともに、営業利益率も大幅に向上いたしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高3,649,367千円（前年同期比8.5％増）、営業利益328,383千円（同44.2％増）、経常利益334,765千円（同45.9％増）、親会社株主に帰属する当期純利益242,737千円（同58.2％増）となりました。

なお、当社グループは、DMP事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における資産合計は2,466,625千円となり、前連結会計年度末に比べ275,520千円の増加となりました。

流動資産は2,388,385千円となり、前連結会計年度末に比べ276,020千円増加しました。これは主に現金及び預金が321,098千円増加したことによるものであります。固定資産は78,239千円となり、前連結会計年度末に比べ499千円減少しました。これは主に投資その他の資産が2,238千円減少したことによるものであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債合計は653,579千円となり、前連結会計年度末に比べ18,928千円の増加となりました。

流動負債は584,911千円となり、前連結会計年度末に比べ38,582千円増加しました。これは主に買掛金が42,855千円増加したことによるものであります。固定負債は68,668千円となり、前連結会計年度末に比べ19,654千円減少しました。これは主に長期借入金が19,992千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は1,813,045千円となり、前連結会計年度末に比べ256,592千円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益242,737千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.6%（前連結会計年度末は69.1%）となりました。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ321,098千円増加し、1,946,884千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は340,931千円（前年同期は218,480千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益334,765千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3,181千円（前年同期は490千円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出3,181千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は16,651千円（前年同期は214,319千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出19,992千円によるものであります。

（４）今後の見通し

当社グループの事業環境としましては、生成AIの急速な普及や自律的に動作するAIエージェントの発展により、データ活用の技術的なハードルが大幅に低下し、企業活動の多様な領域でデータの分析や利活用が進展しております。これに伴い、AIの効果を左右する燃料としてのデータの戦略的重要性が一層高まり、その価値がアドテクの枠を超えてクロステックや金融等の多領域で再評価される動きが加速しております。総務省の『令和8年版 情報通信白書』によれば、世界の生成AI市場は2024年の379億ドルから2031年には4,421億ドル（約11.7倍）へと急拡大する見通しであり、設定された目標に向けて自律動作するAIエージェントの普及も市場成長を力強く後押ししております。高品質かつ安全な「AI-Readyデータ」を提供する事業は、この市場拡大と密接に連動し、加速度的に需要が増加することが見込まれます。

このような環境下で、当社はアドテクの一領域としてのデータ提供から、多様な領域におけるAIモデルの学習・運用に不可欠な「AI-Readyデータ」を届けるデータインフラ企業への進化を加速させてまいります。独自の識別子「IM-UID」をハブとした安全なデータ基盤を強みに、データを搭載したAIエージェントである「DDA」による自動販売の開始や、多領域（B2B、リテール、金融、医療等）のパートナー連携を通じた広範な販売網の構築を推進いたします。あわせて、オルタナティブデータを活用した金融領域など、高付加価値な新規分野への展開にも取り組んでまいります。

ソリューション別では、「データマネジメント・アナリティクス」においてパートナー経由の提供拡大とAIエージェントへの組み込みを本格化させ、「Performance DMP」ではタグ設置不要な配信手法の本格展開や比較サイト等の新領域開拓により成長を牽引させてまいります。また、「マーケティング支援」ではセルフサービス型への移行を進めて少人数での運営体制を確立し、創出した人員を成長領域へ再配置いたします。社内においても生成AIやAIエージェントによる業務自動化・省力化を推進し、労働集約型モデルからの脱却と収益構造の高利益率化を着実に進めてまいります。

以上により、翌連結会計年度（2027年９月期）の業績見通しにつきましては、売上高4,205,477千円（前年同期比 15.2%増）、営業利益409,755千円（同24.8%増）、経常利益408,795千円（同22.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益268,711千円（同10.7%増）を予想しております。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年９月30日）	当連結会計年度 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,625,786	1,946,884
売掛金	462,190	415,632
契約資産	6,208	－
貯蔵品	513	125
その他	17,667	25,743
流動資産合計	2,112,365	2,388,385
固定資産		
有形固定資産		
建物	30,225	29,725
減価償却累計額	△24,578	△25,096
建物（純額）	5,647	4,629
工具、器具及び備品	9,064	12,523
減価償却累計額	△8,073	△8,774
工具、器具及び備品（純額）	990	3,748
有形固定資産合計	6,638	8,377
投資その他の資産		
繰延税金資産	22,132	23,056
その他	49,968	46,804
投資その他の資産合計	72,100	69,861
固定資産合計	78,739	78,239
資産合計	2,191,105	2,466,625
負債の部		
流動負債		
買掛金	314,580	357,436
１年内返済予定の長期借入金	19,992	19,992
未払法人税等	71,460	60,415
契約負債	2,134	2,134
賞与引当金	25,109	33,552
その他	113,052	111,380
流動負債合計	546,329	584,911
固定負債		
長期借入金	80,008	60,016
資産除去債務	6,300	6,300
その他	2,014	2,352
固定負債合計	88,322	68,668
負債合計	634,651	653,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	478,170	481,667
資本剰余金	458,170	462,488
利益剰余金	596,314	839,052
自己株式	△18,681	△17,032
株主資本合計	1,513,972	1,766,174
新株予約権	17,089	21,143
非支配株主持分	25,390	25,727
純資産合計	1,556,453	1,813,045
負債純資産合計	2,191,105	2,466,625

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,363,631	3,649,367
売上原価	2,477,015	2,591,585
売上総利益	886,616	1,057,781
販売費及び一般管理費		
役員報酬	64,450	60,790
給料及び手当	268,210	313,293
賞与	34,158	37,912
法定福利費	56,777	64,147
地代家賃	34,803	34,803
減価償却費	2,087	1,719
業務委託費	23,815	19,421
賞与引当金繰入額	25,109	33,552
その他	149,500	163,756
販売費及び一般管理費合計	658,913	729,398
営業利益	227,702	328,383
営業外収益		
受取利息	2,320	5,369
消耗品売却収入	68	－
ポイント還元収入	1,166	1,296
その他	98	817
営業外収益合計	3,654	7,483
営業外費用		
支払利息	1,149	1,044
支払手数料	646	－
その他	110	58
営業外費用合計	1,907	1,102
経常利益	229,450	334,765
税金等調整前当期純利益	229,450	334,765
法人税、住民税及び事業税	77,911	92,615
法人税等調整額	△5,172	△924
法人税等合計	72,738	91,690
当期純利益	156,711	243,074
非支配株主に帰属する当期純利益	3,230	337
親会社株主に帰属する当期純利益	153,480	242,737

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
当期純利益	156,711	243,074
包括利益	156,711	243,074
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	153,480	242,737
非支配株主に係る包括利益	3,230	337

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	株主資本					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	476,829	456,829	637,847	△272	1,571,234	10,908	22,159	1,604,302
当期変動額								
新株の発行	1,340	1,340			2,681			2,681
親会社株主に帰属する当期純利益			153,480		153,480			153,480
自己株式の取得				△215,628	△215,628			△215,628
自己株式の処分			△93	2,298	2,204			2,204
自己株式の消却			△194,920	194,920	－			－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						6,181	3,230	9,411
当期変動額合計	1,340	1,340	△41,532	△18,409	△57,261	6,181	3,230	△47,849
当期末残高	478,170	458,170	596,314	△18,681	1,513,972	17,089	25,390	1,556,453

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	株主資本					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	478,170	458,170	596,314	△18,681	1,513,972	17,089	25,390	1,556,453
当期変動額								
新株の発行	3,497	3,497			6,994			6,994
親会社株主に帰属する当期純利益			242,737		242,737			242,737
自己株式の処分		820		1,649	2,470			2,470
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						4,053	337	4,390
当期変動額合計	3,497	4,318	242,737	1,649	252,201	4,053	337	256,592
当期末残高	481,667	462,488	839,052	△17,032	1,766,174	21,143	25,727	1,813,045

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	229,450	334,765
減価償却費	2,087	1,719
株式報酬費用	18,438	11,288
賞与引当金の増減額（△は減少）	△119	8,443
受取利息	△2,320	△5,369
支払利息	1,149	1,044
売上債権の増減額（△は増加）	△68,213	52,766
棚卸資産の増減額（△は増加）	284	387
仕入債務の増減額（△は減少）	11,801	42,855
その他	45,536	△7,513
小計	238,095	440,388
利息の受取額	2,320	5,369
利息の支払額	△1,149	△1,044
法人税等の支払額	△20,785	△103,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	218,480	340,931
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△490	△3,181
有形固定資産の売却による収入	0	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△490	△3,181
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	－	△19,992
株式の発行による収入	1,955	3,340
自己株式の取得による支出	△216,274	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214,319	△16,651
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,670	321,098
現金及び現金同等物の期首残高	1,622,116	1,625,786
現金及び現金同等物の期末残高	1,625,786	1,946,884

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

当社グループは、DMP事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

当社グループは、DMP事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（１株当たり情報）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり純資産額	488.52円	561.83円
１株当たり当期純利益	47.32円	77.45円
潜在株式調整後１株当たり当期純利益	46.75円	77.20円

（注）１．１株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （2025年９月30日）	当連結会計年度 （2026年９月30日）
純資産の部の合計額（千円）	1,556,453	1,813,045
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	42,480	46,870
（うち新株予約権（千円））	(17,089)	(21,143)
（うち非支配株主持分（千円））	(25,390)	(25,727)
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	1,513,972	1,766,174
１株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（株）	3,099,129	3,143,629

２．１株当たり当期純利益及び潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	153,480	242,737
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	153,480	242,737
普通株式の期中平均株式数（株）	3,243,466	3,134,097
潜在株式調整後１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（千円）	－	－
普通株式増加数（株）	39,601	10,014
（うち新株予約権（株））	(39,601)	(10,014)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第４回新株予約権 新株予約権の数100個 （普通株式　10,000株） 第５回新株予約権 新株予約権の数100個 （普通株式　10,000株）	第４回新株予約権 新株予約権の数100個 （普通株式　10,000株） 第５回新株予約権 新株予約権の数100個 （普通株式　10,000株） 第７回新株予約権 新株予約権の数416個 （普通株式　41,600株）

（重要な後発事象）

該当事項はありません。